

全校集会 学校長の話（2026年5月19日）

- おはようございます。1年生は明日から、2年生は明後日から、京都府宮津市方面へ自然体験学習に出発します。楽しみにしている人も多いと思います。3年生は、この先に修学旅行が控えていますので、今日の話は修学旅行に置き換えて聞いてください。
- 今回の自然体験学習には、三つの目的があります。一つめは、**自然に親しみ、自然を大切にすることを養うこと**。二つめは、**集団生活を通して、規則を守り、協力する態度を養うこと**。三つめは、**よりよい仲間づくり、学級づくりの基礎とすること**です。どれも大切ですが、今日は三つめの「仲間づくり」に注目して話します。
- そもそも、仲間とは何でしょうか。辞書で調べると、「ある物ごとをいっしょにする者」とあります。同じ目的に向かって、ともに進んでいく人たち。それが仲間だと、私は思います。では、友達と仲間は同じでしょうか。私は、似ているようで少し違うと思っています。
- 友達とは、気が合う人、一緒にいて楽しい人、話が合う人です。好きなゲームやアニメの話で盛り上がりすぎたり、笑いのつぼが同じだったりする人かもしれません。もちろん、友達はとても大切な存在です。**しかし、仲間は、必ずしも気の合う人だけの集まりではありません**。性格が違う人、好きなものが違う人、よく話す人、静かに過ごすことが好きな人。すぐに声をかけられる人もいれば、声をかけるのが少し苦手な人もいます。そうした違いのある人たちが、同じ目的に向かって一緒に活動するところに、仲間という関係が生まれていきます。
- 皆さんのクラスを見渡してみてください。今のクラスは、自分で好きな人を選んでつくった集団ではありません。クラス替えによって、たまたま出会った人たちの集まりです。だから、気の合う人もいれば、まだあまり話したことのない人もいます。それは自然なことです。おかしいことはありません。
- ただ、自然体験学習では、そのような人たちとも一緒に過ごします。同じ場所で寝泊まりをし、同じ食事をし、班で行動し、役割を分担します。自分のことだけでなく、周りの人のことを考えて行動しなければなりません。その中で、「この人には、こんな一面があったんだ」「話してみたら、意外とおもしろいな」「困ったときに助けてくれる人なんだ」と気づく瞬間があるかもしれません。
- 人の違いを認めること。自分とは違う人とも、同じ目的に向かって協力すること。それが、仲間づくりの大切な一歩です。自然体験学習から帰ってきたときに、出発前よりも少しくラスの居心地がよくなっている。クラスを見渡して、「このクラスの仲間でもよかったな」と思える。もしそう感じる事ができたなら、三つ目の目的である「より良い仲間づくり、学級づくり」は、しっかり達成されたと言えるのではないのでしょうか。
- 1年生、2年生の皆さん。安全に気をつけて、しっかり学び、しっかり楽しんでください。そして、ただ楽しかっただけで終わるのではなく、出発前よりもいい仲間、少しいいクラスになって帰ってきてください。3年生の皆さんも、今日の話はこれからの修学旅行に重ねて考えてくれたらと思います。これで、私の話を終わります。